

取扱説明書

発行年月日 05年6月29日

品名 TAPEX-12

図番 0635K-01B CAD PC-01/D/0600/0635

本製品を正しくご使用いただくため必ずお読みください。

この度は、当社製品をお買い上げいただきまして有難う御座います。
ご使用前に必ず本取扱説明書を読んで正しくご使用ください。

工具の定期校正を行ってください。

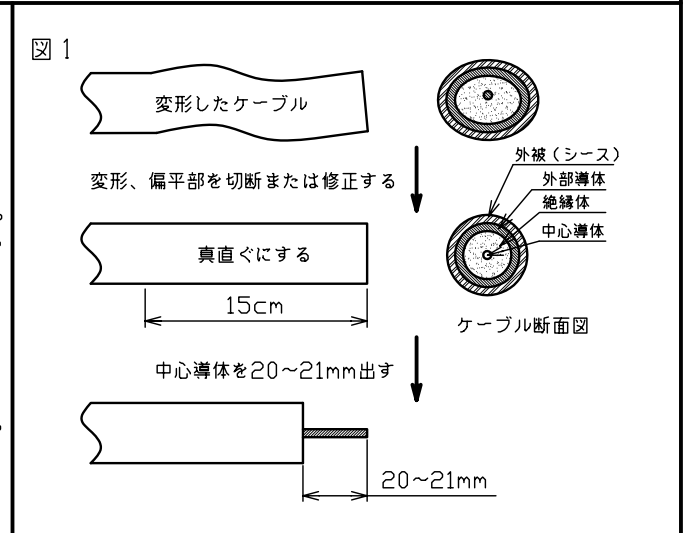
- ケーブルの端末加工工具 CTMX-12A の異状は有りませんか？
- コネクタの締付は、校正されたトルクレンチをご使用ください。

異状と思われましたら購入販売店もしくは当社までお問合せください。

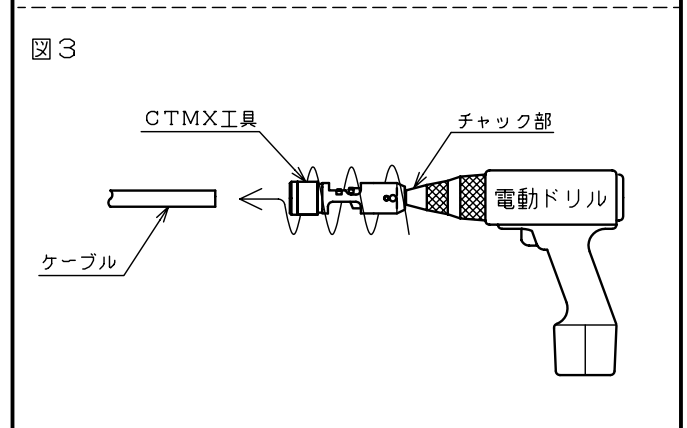
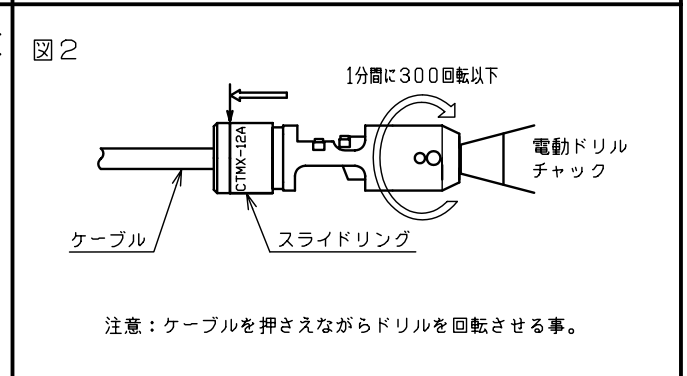
No.	加工工程	使用工具・説明・備考
-----	------	------------

①	<p>◆使用工具の準備 適合ケーブル：12C-2.9</p> <ul style="list-style-type: none"> • CTMX 端末加工工具 CTMX-12A (緑色) • トルクレンチ 24.5N・m(250kgf・cm)/□幅24mm • トルクレンチ 24.5N・m(250kgf・cm)/□幅26mm • スパナ □幅19mm • スパナ □幅26mm • 電動ドリル(1分間に300回転以下) 	<ul style="list-style-type: none"> • フレアリング工具(T-TP-12) • チューブカッター • ニッパー • カッター • スケール (確認用)
---	--	---

②	<p>◆ケーブルのコネクタ取付け部の確認および前加工</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ケーブル切断面を見て外部導体の歪み、曲がり無く中心導体が中心位置にある事を確認します。 2. ケーブル先端部より約15cm位の所までは真直ぐになる様にします。 ※曲がっていると中心導体および外部導体に傷がつく事があります。 〔ケーブルの変形、偏平がひどい場合は、その部分のケーブルを切断して使用してください。〕 3. 外被、外部導体を20~21mmチューブカッターで切り取ります。 4. 外部導体を切り取った部分の内部絶縁体をカッターで切り取ります。
---	--



③	<p>◆CTMX-12A 工具によるケーブル端末加工手順</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. CTMX 工具を電動ドリルのチャック部に確実にセットします。 ※ 緩みの無い事を確認してください。 2. CTMX 工具のスライドリングをケーブル側(図2の矢印部)にします。 3. 電動ドリルを低回転(1分間に300回転以下)にセットします。 4. ケーブルを押しえながら電動ドリルを回転させケーブルの切断をします。 <p>注意1. 電動ドリルの回転中は、保護メガネ等を使用し切粉が目に入らないように注意してください。</p> <p>注意2. ケガをしないようにケーブルの切削は、一気に行わず切削片を取り除きながら行ってください。</p> <p>注意3. 電動ドリルの回転中、無理に押し込むとケーブルの変形やケガの恐れがあるので注意してください。</p> <p>5. 切削が完了すると切粉が出なくなり、電動ドリルの回転がスムーズになります。</p> <p>〔CTMX 工具は内部絶縁体のクリ抜きと外部導体および被覆の切削を同時に行えます。〕</p>
---	---



取扱説明書

発行年月日

05年6月29日

品名

TAPEX-12

図番

0635K-03B

CAD

PC-01/D/0600/0635

No.

加工工程

使用工具・説明・備考

⑤

◆コネクタの取付

1.ロックナットがゆるんでいることを確認します。
(締付けてあると、中心導体が入らなくなります。)

2.機器にコネクタを取付ける。

- ・コネクタ本体①のナットを機器に締付け固定します。

使用トルクレンチ：口幅 26mm
締付トルク：機器の指定による
指定なき場合は $24.5\text{N}\cdot\text{m}$ ($250\text{kgf}\cdot\text{cm}$)

3.ケーブルをコネクタに取付ける。

- ・本体をスパナで固定し締付金具②(ケーブル付)を本体に挿入し $24.5\text{N}\cdot\text{m}$ ($250\text{kgf}\cdot\text{cm}$)で締付け固定します。

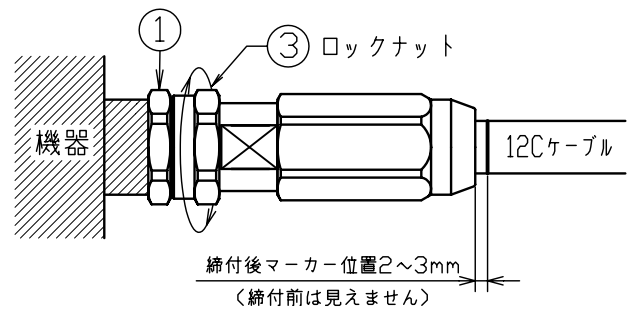
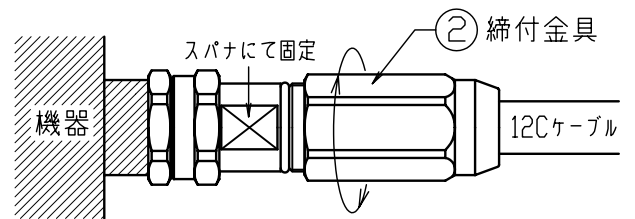
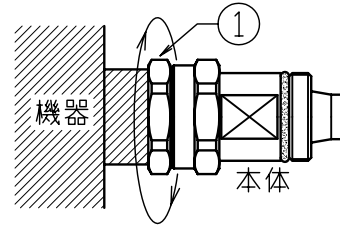
本体固定用スパナ：口幅 19mm
締付金具用トルクレンチ：口幅 24mm
締付トルク： $24.5\text{N}\cdot\text{m}$ ($250\text{kgf}\cdot\text{cm}$)

4.ロックナットで固定。

- ・①のナットをスパナで固定し、③のロックナットを $24.5\text{N}\cdot\text{m}$ ($250\text{kgf}\cdot\text{cm}$)で締付け固定します。

固定スパナ：口幅 26mm
ロックナット用トルクレンチ：口幅 26mm
締付トルク： $24.5\text{N}\cdot\text{m}$ ($250\text{kgf}\cdot\text{cm}$)

注意：ロックナットは最後に必ず締付けてください。



⑥

◆先にケーブル側にコネクタを取付ける場合。

- 1.ロックナットをゆるめた状態で上記⑤3項の要領でケーブルにコネクタを組付けます。
- 2.コネクタ本体①のナットを上記⑤2項の要領で機器に取付けます。
- 2.ロックナット③を上記⑤4項の要領で締付け固定します。

参考

- ※ロックナットをゆるめると、ケーブルを付けた状態で機器へ着脱することができます。
- ※ケーブルの切断はロックナットの下記の位置に合わせて切断してください。

